

あなたのチカラ、

ミセイ

活かして民生！

C班

目次

1. インターンシップを終えて
2. 焦点化した課題
3. 企画の目的
4. 企画の意義
5. 企画の内容
6. 財源について
7. ビラの紹介

インターンシップを終えて

- ▶ 地域の方から必要とされていることを実感した
- ▶ 行政の人たちにはない、地域の方との直接的な繋がり
- ▶ 福祉には答えがなく難しい、だからこそやりがいも大きい
- ▶ 民生委員同士で支えあい、そこで絆が生まれる

焦点化した課題

- ✓ 活動内容が広い
- ✓ 認知度の低さ
- ✓ 責任が重たい
- ✓ 無償の限界

一人一人の負担が大きい

活動範囲が広い

なり手が少ない

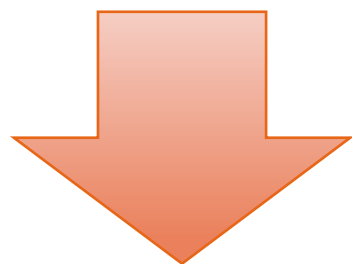
認知度が低い

無償の限界

責任が重い

企画の目的

民生委員のなり手を増やすために



ご年配の方(60~70歳)をターゲットにする！

企画の意義



一人一人の負担が大きい

解決！！

活動範囲が広い

なり手が少ない

認知度が低い

無償の限界

責任が重い

企画内容

チラシ・ポスターのデータ作成

大阪府下の各市町村に協力を仰いで印刷・設置依頼

賛同を得られた自治体に協力してもらおう

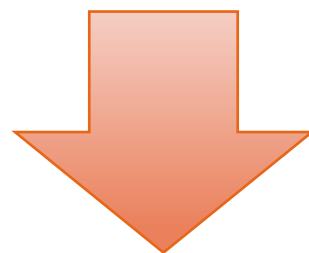
ビラの紹介

- ▶ 写真はおばあさんがボルダリングをしているところを民生委員の方が助けている様子です。
- ▶ 活動の実態を知ってもらうため一週間のスケジュール例を載せました。
- ▶ 活動の主体と対象、両方のインタビューを載せることで、活動の意義ややりがい効果的に伝えます。
- ▶ アンケートとその意見の根拠を載せることで、活動の魅力をアピールします。
- ▶ チラシサイズとポスターサイズの二種類を作ることで広告のパターンを増やしました。
- ▶ ご年配の方にターゲットを絞っているので、やりがい重視の宣伝文句を多用しました。

財源について

大阪府庁の負担はゼロ

各市町村は自分たちで出費額を決められる



無理なく、取り組める

まとめ

民生委員の認知度向上



担い手不足の解消



一人一人の負担減

まとめ

民生委員の認知度向上



担い手不足の解消



一人一人の負担減



民生委員の離職率ダウン



活動の質も向上

ご清聴ありがとうございました

※本資料は「民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト
(大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課)」の取り組みにより作成したものです。